



社会医療法人 北九州病院 2023年度 職員健康レポート

1. 法人の健康支援の取組状況に関する指標

| | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|--|---------|-------|--------|
| ① 定期健康診断の徹底および精密検査の受診勧奨 | | | |
| 定期健康診断受診率(*) | 100% → | 100% | - |
| 精密検査対象者受診勧奨率 | 100% → | 100% | - |
| (*) 定期健康診断の実施を徹底しています。目標値: 定期健康診断受診率100% | | | |
| ② 特定保健指導 | | | |
| 特定保健指導利用率(*) ^{a)} | 93.0% ↘ | 95.4% | 16.0% |
| (*) 例年、特定保健指導の利用率は10%を下回り、当法人の健康課題となっていました。そこで2022年度から利用しやすい環境整備(健診当日型の特定保健指導の導入等)や保険者との連携を図り、以降は毎年9割以上の職員が積極的に利用するようになっていきます。目標値: 特定保健指導利用率100% | | | |
| ③ 健康イベント(身体面)(女性の健康課題への対策を含む) | | | |
| 身体の健康をテーマに扱ったセミナーの参加者数 | 24名 ↑ | 21名 | - |
| 「フィジカルヘルスセミナー」(年1回)参加者満足度(*) | 100% → | 100% | - |
| (*) 例年、職員(医療従事者)自身の健康を考える日(フィジカルヘルスセミナー)を設けており、セミナー参加者の満足度は100%と好評を得ています。目標値: フィジカルヘルスセミナー参加者満足度100% | | | |
| ④ 福利厚生 | | | |
| 福利厚生(フィットネス利用割引等)利用者数 ^{※1※2} | 888名 ↘ | 1396名 | - |
| 福利厚生(無料カウンセリング)利用者数(*) | 108名 ↑ | 107名 | - |
| (*) 外部委託の無料カウンセリング制度を設け、積極的に案内や周知を行っており、毎年100名以上の職員が利用しています。目標値: カウンセリング利用率100名以上/年 | | | |
| ⑤ ストレスチェック | | | |
| ストレスチェック受検率 | 96% ↑ | 95% | - |
| ストレスチェックの職場別分析結果を受けて職場環境改善に取り組んだ職場 ^{※3} の割合(*) | 100% → | 100% | - |
| (*) 仕事や人間関係上で課題のある職場(総合健康リスク値が120を上回る職場)では、必ず職場環境改善活動を実施しています。目標値: 職場環境改善取組率100% | | | |
| ⑥ 健康イベント(メンタル面) | | | |
| 心の健康をテーマに扱ったセミナーの参加者数 | 877名 ↑ | 310名 | - |
| 「メンタルヘルスケアセミナー」(年1回)参加者満足度(*) | 98% ↑ | (測定無) | - |
| メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種(ラインケアコース)団体受験合格者数(累積) | 205名 ↑ | 186名 | - |
| メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種(セルフケアコース)団体受験合格者数(累積) | 97名 ↑ | 88名 | - |
| (*) 例年、職員(医療従事者)自身のメンタルヘルスを考える日(メンタルヘルスケアセミナー)を設けており、セミナー参加者の満足度は98%と好評を得ています。目標値: メンタルヘルスケアセミナー参加者満足度100% | | | |
| ⑦ 健康イベント(コミュニケーション面) | | | |
| コミュニケーションイベント(研修・交流会)参加者数 | 858名 ↑ | 558名 | - |
| 取組評価率(*) ^{b)} (「法人のハラスメント対策が積極的だと感じる」と評価する者の割合) | 90% ↘ | 92% | 57.0% |
| レクリエーション費支給実績(単位:万円) ^{※4} | 1,116 ↑ | 0 | - |
| (*) メンタルヘルス不調や離職の要因となりやすい「ハラスメント」を防ぐため、年間を通して繰り返しコミュニケーションの研修を実施しており、9割の職員が法人のハラスメント対策を「積極的」と評価しています。目標値: 取組評価率80%以上 | | | |

2. 職員の意識・行動変容に関する指標

| | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|---|--------|-----|--------|
| ⑧ 精密検査の受診 | | | |
| 精密検査受診率(*) | 78% ↘ | 80% | - |
| (*) 例年、受診率が約6割に留まっており、当法人の健康課題となっていました。そこで2019年度から受診勧奨を強化し、以降は毎年約8割の職員が受診するようになっていきます。目標値: 精密検査受診率80%以上 | | | |

| ⑨健康的な生活習慣の実施 ※5 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|---|--------|-----|--------|
| 運動習慣率 (1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している者の割合) a) | 20% ↑ | 18% | 18% |
| 身体活動率 (日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合) a) | 45% ↑ | 42% | 45% |
| 間食率 (朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している者の割合) a) | 24% ↑ | 24% | 27% |
| 朝食欠食率 (朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合) a) | 25% ↓ | 27% | 21% |
| 飲酒率(お酒を毎日飲む者の割合) a) | 16% ↓ | 16% | 18% |
| 喫煙率(*) a) | 17% ↓ | 18% | 15% |
| 良眠率(睡眠で休養が十分取れている者の割合) a) | 60% ↓ | 61% | 61% |
| 高血圧者のうち治療継続中率 | 87% ↓ | 90% | - |

(*) 例年、喫煙率が高い状況であり、当法人の健康課題となっています。セミナーでの情報発信や、eラーニングの整備を進めるなど禁煙支援を強化しています。目標値：喫煙率10%未満

3.健康関連の最終的な目標に関する指標

| ⑩長期病欠・休業率 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|--------------------------------|--------|------|--------|
| メンタル不調による長期病欠・休業率(連続1か月以上)※6 | 1.0% ↓ | 1.2% | - |
| メンタル不調以外による長期病欠・休業率(連続1か月以上)※6 | 1.0% ↑ | 0.9% | - |
| 4日以上 of 休業を伴う労働災害の発生件数 | 27件 ↓ | 119件 | - |

| ⑪体調不良を抱えながら働く職員の割合 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|----------------------|--------|-----|--------|
| 健康診断有所見率 | 75% ↑ | 74% | - |
| メタボ該当率(◎) | 10% ↓ | 10% | 10% |
| 高ストレス率 ^{c)} | 14% ↓ | 16% | 14% |

(◎) 効果検証：特定保健指導対策を強化する前(2021年度)と後(今回)のメタボ該当率を比較した結果、現時点ではまだ大幅な改善は確認されませんでした($\chi^2(1)=0.021, n.s.$)。今後も特定保健指導を継続し、職員の健康促進に向けた取り組みをさらに推進していきます。目標値：メタボ該当率10%未満

| ⑫活力・熱意などを抱いて働く職員の割合※7 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|--------------------------------|--------|-----|--------|
| 活力度(仕事をしていると活力がみなぎると感じる者の割合) | 69% ↑ | 67% | - |
| 熱心度(仕事に熱心であると感じる者の割合) | 89% ↑ | 87% | - |
| 没頭度(仕事をしていると時間が経つのが早いと感じる者の割合) | 94% ↑ | 87% | - |

N=北九州病院グループの研修内で実施した職場環境アンケートの回答者数(回答率)

980名(84%)

526名(89%)

| ⑬職場の快適度やワークライフバランス | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|--|---------|-------|--------|
| 就労継続意欲(現在の職場でできるだけ長く働きたいと感じる者の割合) | 76% ↑ | 75% | - |
| パワーハラスメント経験率(現在の職場で過去3年間のパワーハラスメントを受けたと感じる者の割合) b) | 9% ↓ | 10% | 21% |
| 高ストレス職場への該当率(総合リスク値120以上の職場の割合) | 8% ↓ | 8% | - |
| 平均月間残業時間(所定外労働時間) | 5.9時間 ↑ | 4.4時間 | - |
| 平均年次有給休暇取得率 ^{d)} | 86% ↓ | 92% | 65% |

4.健康支援で解決したい経営課題に関する指標

| ⑭職員のパフォーマンス発揮※8 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|--|--------|-----|--------|
| パフォーマンス発揮率(◎)(心身の不調による損失が無い場合のパフォーマンスを100%とした場合の、過去4週間の業務パフォーマンスの発揮率の平均) | 77% ↑ | 75% | - |

N=北九州病院グループの研修内で実施した職場環境アンケートの回答者数(回答率)

980名(95%)

526名(89%)

(◎) 効果検証：年々パフォーマンス発揮率が改善しています。目標値：平均80%以上

| ⑮人材確保・定着 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|-------------------------|---------|-------|--------|
| 平均勤続年数(◎) ^{e)} | 9.8年 ↑ | 9.6年 | 8.8年 |
| 離職率 ^{f)} | 10.4% ↓ | 10.7% | 14.6% |

(◎) 効果検証：年々平均勤続年数が改善しています。目標値：平均勤続年数9年以上

5.社会的価値・企業価値の向上に関する指標

| ⑯魅力的な法人(病院)としての外部評価の向上 | 2023年度 | 前年度 | 同業種平均値 |
|-----------------------------|-----------|---------|--------|
| 当法人ホームページ(福利厚生)へのアクセス数 | 10,586回 ↑ | 10,128回 | - |
| 当法人ホームページ(福利厚生>健康支援)へのアクセス数 | 835回 ↑ | 599回 | - |
| 「健康経営優良法人」認定/経済産業省・日本健康会議 | 5年連続認定 ↑ | 4年連続認定 | - |
| 「健康づくり優良事業所ゴールド」認定/協会けんぽ | 4年連続認定 ↑ | 3年連続認定 | - |

各目標値の計画期間

2021年4月1日~2025年3月31日(4年間)

(4年ごとに見直しを行います)

同業種(医療・福祉)の全国平均値の参照元

- a) 全国健康保険協会福岡支部(事業所カルテ2023年度版)
- b) 厚生労働省(令和5年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書)
- c) 全国労働衛生団体連合会(令和5年全衛連ストレスチェックサービス実施結果報告書)
- d) 厚生労働省(令和5年就労条件総合調査)
- e) 厚生労働省(令和4年賃金事情調査)
- f) 厚生労働省(令和5年雇用動向調査)

注釈

- ※1 北九州病院グループ全体の利用者総数
- ※2 職員の二親等以内の家族の利用人数まで含む。))
- ※3 総合健康リスク値120以上の職場が対象
- ※4 職場の親睦を図るための行事などに補助金を支給
- ※5 40歳以上を対象に集計
- ※6 長期病欠・休業率は、連続1か月以上の長期欠勤・退職者数を全職員数(N=3742名)で割った値
- ※7 ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度超短縮版3項目を使用し把握
- ※8 SPQ(Single-Item Presenteeism Question 東大 1 項目版)を使用し把握